

まなざしを世界に向け、  
21世紀の課題を担う  
国際人を育てる学校をめざして

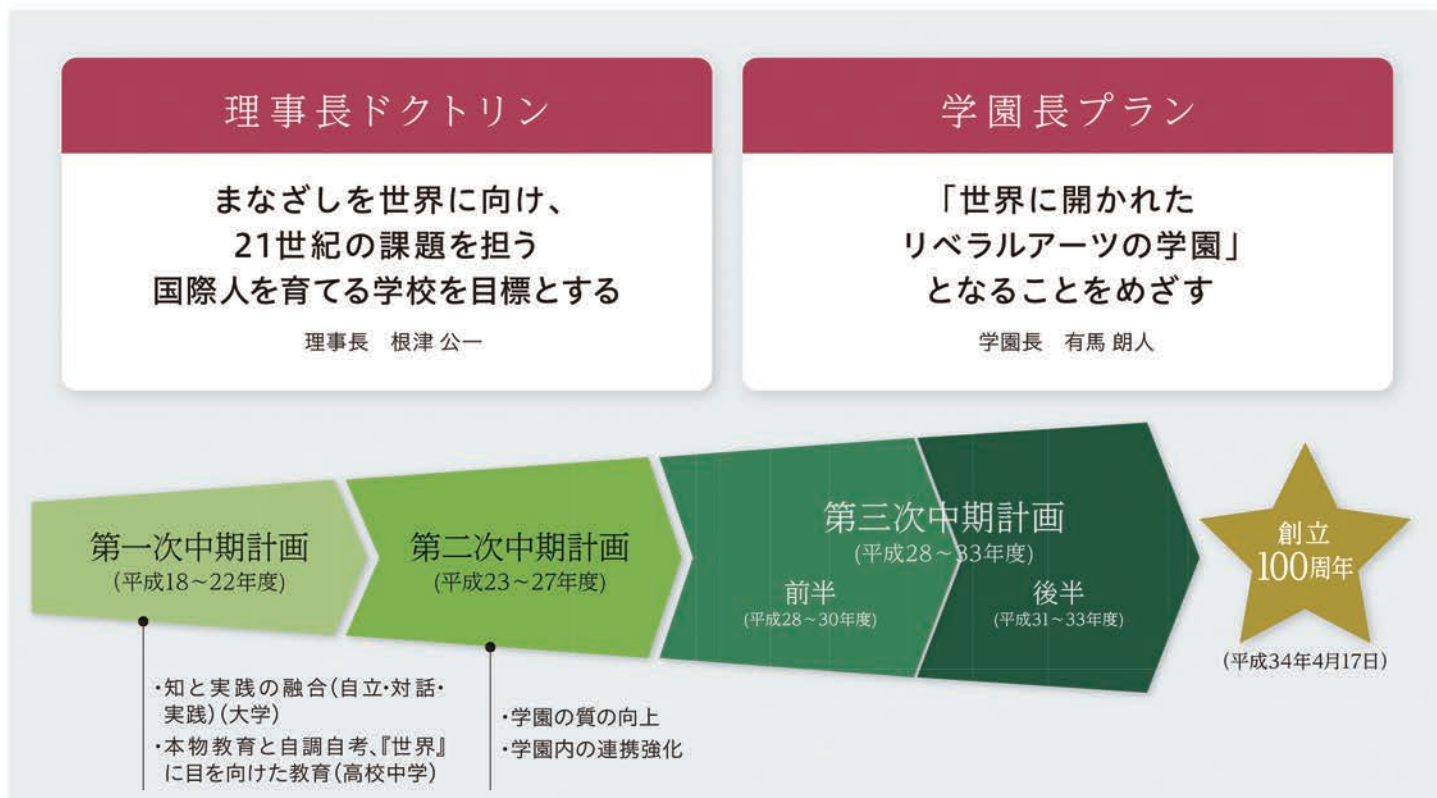
## 第三次中期計画

(平成28~33年度)



# 根津育英会武蔵学園における中期計画の方向性

第三次中期計画は、「建学の三理想」に立ち返り、創立100周年に向けて、これから学園が実行する諸施策です。



## 「第三次中期計画」で目指すべき学校像

<b>武蔵大学</b>	異文化を理解し未来を創造する教養あるグローバル市民の育成 ～創立100周年に向け原点に立ち返り、建学の三理想の継承と未来への変革を目指す～
<b>武蔵高等学校 中学校</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 正統的リベラルアーツ&amp;サイエンス教育を実践する学校</li><li>● 生きる力を育み、多様な生き方ができる生徒を育てる学校</li><li>● 『世界』とつながる学びを提供し、真のグローバルを目指す教育を実践する学校</li><li>● 生徒が志望する大学への進学を実現する学校</li><li>● 大学、社会との繋がりの中で教育を考え・発信し、教育改革をリードする学校</li></ul>

## 「第三次中期計画」における戦略的事項

大学	高校・中学	学園共通
<b>リベラルアーツ教育を基盤とした グローバル市民の育成</b>	<b>グローバル化に対応した人材を輩出する ためのリベラルアーツ教育の構築</b>	<b>高質な教育を実現するための 学園ガバナンスとマネジメント</b>
<b>1.国際化に向けた教育力の向上</b> ①国際化に対応した教育理念 ②国際化に対応した教育課程の導入 ③国際化推進のための教員任用 ④多様化する時代に即した教育課程の編成 ⑤附置組織の再編成 ⑥新しい教育方法の導入 ⑦国外協定校の拡充および留学の促進 ⑧国際交流を促進する混住型の滞在施設 ⑨入試制度の見直しによる新しい層の獲得 ⑩新しいグローバルリーダーの育成	<b>1.リベラルアーツ教育の深化</b> ①中高一貫校としての中等教育のあり方を再定義したカリキュラムの見直し ②学校行事の再検討 ③教員および生徒の研究奨励の充実 ④教育施設設備の充実 <b>2.グローバル化対応</b> ①帰国再入学受入プログラムの整備 ②国外研修制度の再構築 ③国内外進学学習機会提供 ④卒業生による人的支援の充実	<b>1.経営と教学の一体化</b> ①大学/高中ガバナンスの確保 ②中期計画の浸透と実行 <b>2.迅速な意思決定ができる教学組織</b> ①学長/校長のリーダーシップの確立と全学的な教学マネジメントの確保 <b>3.教学組織の機能化とそれに適合する事務組織</b> ①学生・生徒等の便宜と業務の機能化という視点による教学組織の検証と再構築 ②重複業務および事務室配置を検証し、最適な組織運営体制の再構築 <b>4.百周年記念事業の実施</b> ①建設事業(高中新棟建設、朝霞クラブハウス建設)



# 「第三次中期計画」における経常的重要事項

大学	<p>魅力ある大学としての社会的評価と認知度の向上</p> <p><b>1.教育研究組織・環境の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①図書館の学習機能の拡充</li><li>②大学新棟の検討と既存教室の整備</li><li>③朝霞グラウンド第二次整備計画</li></ul> <p><b>2.学生・卒業生支援の拡充</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①世界に雄飛する人材への奨学金の拡充</li><li>②キャリア支援の強化</li><li>③就職率の向上、有為な人材の輩出</li><li>④卒業生との連携強化</li><li>⑤教育の過程および成果の総合的把握</li></ul> <p><b>3.大学の知名度の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①多様な広報活動の展開</li></ul> <p><b>4.研究活動の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①国際的な研究分野への参加促進</li><li>②学外研究資金の獲得</li><li>③競争的学内資金の創出</li><li>④研究倫理に則った健全な研究活動の推進</li><li>⑤大学院生の研究活動支援</li></ul>	<p>社会的責任</p> <p><b>1.社会貢献の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①高い倫理観と人権意識の醸成</li><li>②修学支援体制の整備</li><li>③男女共同参画の促進</li><li>④地域連携の促進</li></ul> <p>安定的な大学運営</p> <p><b>1.大学運営システムの強化改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①ガバナンス体制の強化</li><li>②内部質保証の改善</li></ul> <p><b>2.4,000人規模の大学としての財務安定化</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①教育研究を支える財務体質の強化</li></ul>
高校 中学	<p>生徒の学習能力の強化、学習意欲を引き出す教育の実践</p> <p><b>1.学ぶ意欲に溢れる新入生の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①中学入試広報の強化</li><li>②卒業生による人的支援の充実</li></ul> <p><b>2.進学実績の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①学ぶ意欲を引き出すカリキュラムの見直し</li><li>②国内外進学情報提供強化</li></ul> <p>教員の研究・教育力の高水準維持</p> <p><b>1.教員の教育研究向上のための時間の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①教員の研究環境改善</li></ul>	<p>教育環境の整備</p> <p><b>1.心身サポートの強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①心身サポート体制の拡充と健康管理の強化</li></ul> <p><b>2.教育環境の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①奨学金制度の見直し</li><li>②課外活動支援体制の改善</li><li>③卒業生による人的支援の充実</li></ul> <p>安定的な高校中学運営</p> <p><b>1.安定した高校中学の運営の促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①卒業生・企業による経済的支援の充実</li><li>②運営基盤の強化</li></ul> <p><b>2.校内施設の有効活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①校内施設の利用率向上</li></ul>
学園 共通	<p>組織・人事制度の改革</p> <p><b>1.専任教員の採用および任用制度の再構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①人事委員会による採用決定と、学長／校長による任用制度の再構築</li><li>②教員評価の制度化</li></ul> <p><b>2.専任教員数の見直し</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①リベラルアーツ教育カリキュラムの深化／学部改組に適應する教員組織再構築</li><li>②適正教員数と最適な雇用形態</li></ul> <p><b>3.事務職員採用および任用制度の再構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①組織開発／活性化が不断に行える人事計画</li><li>②職員人事評価制度の問題点の整理と改善</li></ul> <p><b>4.アウトソーシングの見直し</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①アウトソーシングの業務対象とその規模の再構築</li></ul> <p><b>5.専任事務職員数の見直し</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①内部監査による業務監査結果を含めた業務の見直し作業を行い、部局の適正な人員数の設定</li></ul> <p><b>6.大学教員の研修制度の再構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①研究成果の向上と教育方法の向上</li></ul> <p><b>7.事務職員等の育成・研修制度の再構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①SD(Staff Development)の体系化</li></ul> <p><b>8.新しい給与制度</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①教員評価制度に連動した教員給与制度の構築</li><li>②職員給与制度の見直し</li><li>③教職員給与制度の実施</li></ul>	<p>コンプライアンス、社会的責任</p> <p><b>1.コンプライアンス体制の改善と運用</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①教職員行動基準の整備</li><li>②コンプライアンスのための学園内組織づくり</li><li>③人権委員会の再構築</li><li>④個人情報保護体制の再整備</li><li>⑤啓蒙活動の徹底</li></ul> <p><b>2.リスクマネジメント</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①JIS Q 31000を踏まえたリスク管理規程の見直しと、事業リスクマネジメントシステムの構築</li><li>②危機管理対応マニュアル(教職員、学生、生徒)の随時更新と防災備蓄品の充実</li><li>③災害発生時の近隣対応</li></ul> <p><b>3.内部監査の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①監査計画に基づく定期的な監査(巡回監査)の実施</li><li>②モニタリング・監査</li><li>③三様監査の強化</li></ul> <p><b>4.教職員の安全と健康の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①教職員の安全と健康の確保のため、法人、大学、高中が連携した対策の策定</li></ul> <p><b>5.社会的責任の履行</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>①ISO26000準拠の活動指標の設定</li></ul>



# 「第三次中期計画」における学園内の教育連携

武蔵中学校・武蔵高等学校では、国内大学のほか海外大学、さらに海外大学院への早期進学につながる教育の仕組みの構築が課題です。また、武蔵大学では外国語で授業を受け、海外大学の単位の修得や学位を取得し、特に海外の大学院へ進学する質の高い学生の育成が課題として挙げられます。これら双方の取り組むべき課題を実現し、まなざしを世界に向け、21世紀の課題を担う国際人を育てるために、学園内での設置校間の連携を一層強め、プログラムや施設の共同利用等を進めていきます。

大学が導入している

「ロンドン大学 International Foundation Programme」の高校生への開放

中学入学後8.5年で、海外大学院に進学できる教育コースを検討する  
(中/高/大一貫したシームレスな、「世界とつながる」教育コース)

新しい  
リベラルアーツ  
教育体系の構築

## 建学の三理想

1. 東西文化融合のわが民族理想を遂行し得べき人物
2. 世界に雄飛するにたえる人物
3. 自ら調べ自ら考える力ある人物

大正11(1922)年の旧制武蔵高等学校創立時に「建学の三理想」を掲げました。

## 創立者 根津嘉一郎と本学園の歴史



明治、大正、昭和にわたり財界で活躍した根津嘉一郎(初代、1860～1940)は、加富登麦酒(カブトビール。現アサヒビール、サッポロビール)や日清製粉などの社長を歴任。このほか、東武鉄道や東京地下鉄道(現東京メトロ)など日本国内の多くの鉄道敷設や再建事業に携わり、「鉄道王」と呼ばれました。根津は「国家の繁栄は育英の道に淵源する」という信念のもと、有為の人材を育成する理想的な学校として1922(大正11)年にわが国初の七年制高等学校である旧制武蔵高等学校を創立。その後の学制改革にともない、1948(昭和23)年に新制武蔵高等学校、1949(昭和24)年に武蔵中学校、武蔵大学となりました。

創立者

初代 根津 嘉一郎 Kaichiro Nezu



学校法人

根津育英会武蔵学園

武蔵大学 武蔵高等学校 武蔵中学校